

特集

ジェンダー平等を実現しよう

SDGsから世界と日本の「今」を知る

SDGsと各国の 現状・課題

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、2015年(平成27年)、「国連持続可能な開発サミット」で掲げられた目標です。社会、環境、経済に関わる課題解決に向けた17の目標があり、目標5は「ジェンダー平等を実現しよう」です。ジェン

ダー格差の解消や女性のエンパワーメントを意味し、女性差別や性的搾取の廃絶、政治・経済を含む全ての分野の意思決定における女性参画、教育・就労機会や社会資源等の獲得における男女平等などを含みます。

国際連合が発表した「持続可能な開発目標(SDGs)報告2022」によると、日本のSDGs達成度スコアは79.6で、163か国

中19位。1位はフィンランド(86.5)で、北欧をはじめとする先進国が上位を占めています(図1)。目標5の結果に注目すると、日本はジェンダー平等に向けて「適度な改善」が見られつつ、「深刻な課題」が残っている

状況です。日本は、教育を受ける平均的年数の男女差や労働参加率における男女比率で目標値を達成している一方、国会における女性の

議席割合が1割未満であること、男女の賃金格差が大きいことなどが大きな課題です(図2)。

世界経済フォーラム公表の「ジェンダー・ギャップ指数2022」でも146か国中116位と、特に政治・経済分野で改革が求められています。



未来を変える目標 SDGsアイデアブック (Think the Earth)



マンガやイラストによる図解で、子どもから大人までSDGsを楽しく学べるビジュアルブックです。

SDGsのきほん 未来のための 17の目標 (6) (ポプラ社)



男女格差についての基礎知識が集約。絵本や資料も付いた中身の濃い一冊です。



おすすめ本

